京都式農福連携構築事業

農福連携に関する就農環境アンケート調査

　記入日：平成　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 職種 |  |
| 氏名 |  |
| 法人名 |  |
| 事業所名（種別） |  |
| 指定年月日 | 平成　　年　　月 | 農業事業実施期間 | 　　年　　ヶ月 |
| ＴＥＬ |  | ＦＡＸ |  |
| メールアドレス |  |

共通項目

設問1　現在、事業所で農業関連事業を実施していますか。

1.はい（主な農業形態は何ですか）

　　A.生産のみ

B.加工のみ（農作物を原材料とするもの（パン製造等）を含む）

C.販売のみ

　D.生産＋加工（有機野菜をジュースに製造して他社へ出荷 など）

E.生産＋販売（生鮮野菜を販売 など）

F.加工＋販売（他から仕入れた原材料をヨーグルトに加工して自社販売 など）

G.生産＋加工＋販売（すべて実施している）

　 2.いいえ　→【農業関連事業を行っていない事業所のみ】へ

 3.今後実施してみたい。　→【農業関連事業を行っていない事業所のみ】へ

（回答欄：　　　）

【農業関連事業を行っている事業所のみ】

設問2　生産している作物は何ですか。

　1.水稲（米）

　2.野菜

3.果樹

4.花卉

5.畜産

6.林業

7.その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

設問3　農地の使用形態・保有状況について教えてください。

　1.農地を事業所で保有して農作業サービスを行っている。

 2.農地を事業所で借地保有して農作業サービスを行っている。

　3.農地は事業所で保有せず他農地へ利用者を派遣して農作業を実施している。

　4.農地を事業所で保有していないが将来保有したいと考えている。

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

－１－

設問4　農業経営耕地面積はいくらですか。（設問3で1･2を選択した方のみ）

　1.10a（1,000㎡）未満

　2.10～30ａ（1,000～3,000㎡）未満

　3.30～100ａ未満（3,000～10,000㎡）未満

　4.100～500ａ未満（10,000～50,000㎡）未満

　5.500ａ（50,000㎡）以上

（回答欄：　　　　（1･5を選択した方）　　　　㎡）

設問5　事業所で次に該当する就農者（利用者を含む）の年齢を下からお選びください。

　１番目に多い層（Ａ）　２番目に多い層（Ｂ）　３番目に多い層（Ｃ）

　1.20歳代

　2.30歳代

回答欄

回答欄

　3.40歳代

　4.50歳代

　5.60歳代

　6.70歳代以上

（回答欄：（Ａ）　　（Ｂ）　　（Ｃ）　　）

設問6　農作物生産（栽培）について、栽培している農作物の種類は何ですか。

　［回答例］トマト、なす、きゅうり‥

　（回答欄（自由記述）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

設問7　農作物生産（栽培）について、保有している農業機械の種類は何ですか。

　［回答例］トラクター、草刈り機‥

　（回答欄（自由記述）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

設問8　農作物生産（栽培）について、栽培指導は誰が行っていますか。

　［回答例］近隣の農家、改良普及センタ職員‥

　（回答欄（自由記述）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

設問9　現在行っている加工は次のどれですか。（設問1でBDFGを選択した方のみ）

1.乳製品加工

2.漬物・煮物加工

3.調味料製造加工

4.ジャム類加工

5.飲料水（ジュース）加工

回答欄Ｃ

回答欄Ｂ

6.菓子類加工

7パン製造

8.その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

9.現在、加工はやっていないが今後実施してみたい。

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

－２－

回答欄

設問10　現在行っている販売は次のどれですか。（設問1でCEFGを選択した方のみ）

　1.事業所併設店舗販売

2.事業所併設カフェ販売

3.直売所販売

4.他店（小売店・カフェ等）へ出荷

5.インターネット等での通信販売

6.その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　7.現在、販売はやっていないが今後実施してみたい。

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

設問11　事業収益のうち農業が占める割合は次のどれですか。

　1.10％未満

2.10％～30％

3.30％～50％

4.50％～70％

5.70％～90％

6.90％以上

（回答欄：　　　）

設問12　農業に従事している利用者とそれ以外の利用者の工賃水準は異なりますか。

　　　　※平成28年度実績でご記入ください。

（回答欄：（同　　じ）　　　　円／月・　　　　円／日・　　　　／時間））

（回答欄：（農　　業）　　　　円／月・　　　　円／日・　　　　／時間））

（回答欄：（農業以外）　　　　円／月・　　　　円／日・　　　　／時間））

設問13　近隣農家・農業団体との協力関係はいかがですか。

　1.農業技術の指導を受けている

2.農地を無償で借りている

3.作業を手伝ってもらっている

4.作業の一部を受託している

5.共同販売を行っている

6.特にない

7.その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

設問14　農福連携（農業活動）に取り組んでいる理由は何ですか。

　1.収穫農作物の販売による工賃向上

2.利用者の就職先としての可能性

3.利用者の精神的安定に良いから

4.施設・事業所内での食材調達

5.農家の支援があるから

6.その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

－３－

回答欄

設問15　農福連携（農業活動）の今後の予定についてお聞かせください。

1.活動を拡大したい

　　A.農作物の栽培（他の作物）

B.食品加工・販売

C.直売所・インターネット等での通信販売

　D.地域での委託販売

E.カフェ等の経営

　2.今の活動を継続したい

　3.検討中

4.その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

設問16　農福連携（農業活動）に取り組むにあたっての課題は何ですか。

　1.農地の確保

2.知識・技術がない

3.専門スタッフの確保

4.資金がない

5.協力農家がない

6.その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

設問17　京都式農福連携事業の取組を知っていますか。

1.はい

　　A.公式ＨＰ「京のノウフク」をみた

B.府の広報をみた

C.ＴＶ・新聞などでみた

　D.他の福祉事業所等からきいた

E. その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　 2.いいえ

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

設問18　京都式農福連携事業で活用してみたいものは何ですか。

　1.農福連携補助金

2.府主催のイベント（マルシェ等）

3.農業技術指導

4.アドバイザー派遣（農業技術指導以外）

5.キャリア認証制度

6.その他（ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

－４－

回答欄

【農業関連事業を行っていない事業所のみ】

設問19　現在取り組んでいない理由は何ですか。（設問1で2･3を選択した方のみ）

　1.農地がない

　2.ノウハウがない

 3.どのような商品を作ってよいかわからない

　4.スタッフが足りない

　5.販売先がない

　6.設備がない

　7.どこに相談をしてよいのかわからない

　8.以前取り組んでいたがやめた

　9.その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（回答欄（複数可）：　　　　　　　　　　）

設問20　取り組みをやめた理由は何ですか。（設問19で8を選択した方のみ）

　［回答例］農地の縮小、人員の減少‥

　（回答欄（自由記述）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【共通】

設問21　6次産業化（生産＋加工＋販売）を進めていく上で、どのような支援・機会がほしいですか。自由に記述して下さい。

設問22　農福連携で取り組んでほしいもの、期待するものなど自由に記述して下さい。

設問23　事業所が所在する地域で、共生社会づくりの取組（多種多世代による交流など）が実感できることはありますか。自由に記述してください。

－５－